

平成26年度 入学式

ご入学おめでとうございます!!

平成26年4月2日(水)、神奈川歯科大学並びに神奈川歯科大学短期大学部の入学式が挙行されました。歯学部113名、歯科衛生学科95名、看護学科81名、総勢289名の新入生を迎え、保護者の方々の出席も多く、本学に対する期待が伝わってきました。本学は今年で創立104年となり、式典開始前には、その歴史や学内に咲く四季折々の花々、人体の神秘を実際に見て感じる事のできる「神奈川歯科大学資料館」等の映像で紹介がされました。開式後の学長式辞で平田幸夫学長は、「本日この場にいる新入生の皆さんは、様々な決意・目標のもと、この神奈川歯科大学にご入学されたと思います。しかし、〝国家試験合格、という目標だけは皆さんが共通して持っている目標です。〝国家試験合格、の資格を得るという事は、〝私たち一人ひとりが国民の健康を守る医療人の証明であると同時に、国から国民の健康を託されたという事の証明でもあります。これらの事を常に胸に秘め、日々勉学に励んでください。」と激励の言葉を述べられました。続く理事長告示で

鹿島勇理事長は「教育文化の象徴として、学内の資料館には“量り知れないものを形にする”という一つの宇宙観が表現されています。学年を重ねるに従って医学の知識や技術も身につき、その蓄積に応じて感じ方も歳ごとに変化してくるでしょう。」と述べられました。更に、衆議院議員小泉進次郎先生からは「ご入学おめでとうございます。様々な技術と知識を会得

し、皆様が大きく飛躍されることを心から願っております。貴校のますますのご発展とご参集の皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたします。」とのメッセージも届けられ、新入生は将来の臨床家を夢見ながら聞き入っていました。新入生代表からは、「学則を守り、大学の名誉を毀損せず、後進の模範となるよう自覚を持ち、学業に専念する」との宣誓がありました。最後に神奈川歯科大学校歌が斉唱され、約1時間

の式典は無事終了しました。式典終了後、雅楽師・東儀秀樹さんによるスペシャルライブが開催され、「龍笛(りゅうてき)」「箏(ひちりき)」「笙(しょう)」といった日本古来の雅楽器で奏でる独自の音楽世界を「JUPITER」「Tears In Heaven」「ハナミズキ」等の有名音楽タイトルにのせて約1時間演奏していただきました。演奏が終わると会場内が大きな拍手で包まれ、来場された方からも笑みがこぼれていました。



鹿島勇理事長



平田幸夫学長



雅楽師東儀秀樹氏



新入生との即興セッション



平成25年度 卒業式

ご卒業おめでとうございます

平成26年3月17日(月)神奈川県川歯科大学並びに神奈川県川歯科大学短期大学の卒業式が挙行されました。当日は神奈川県川歯科大学100名、神奈川県川歯科大学短期大学部歯科衛生学科54名、看護学科92名、総勢246名の卒業生が保護者とともに式場である大講堂に集まりました。

佐藤貞雄学長からは「自分自身で問題を発見し、解決する能力が備わったという意味も含まれる学士力を持って、キャリアを重ね、専門力を向上させてほしい。そのためには判断力を鍛

えることも大切です。今後のご活躍を期待しています。」とご祝辞がありました。

また横須賀市吉田雄人市長代理副市長：沼田芳明様、神奈川県川歯科大学同窓会会長：大館満様、神奈川県川歯科大学短期大学部同窓会会長：名取すみ子様よりご祝辞を頂きました。

横須賀市歯科医師会佐久間博

一会長代理副会長：松本好史様、神奈川県川歯科衛生士会会長：堀正子様、横須賀商工会議所平松廣司会頭代理専務理事：菊池匡文様、神奈川県川歯科大学同窓会会長：大館満様、神奈川県川歯科大学短期大学部同窓会会長：名取すみ子様にお越しいただきました。



【各賞受賞者（卒業生）】

— 神奈川県川歯科大学 —

学士試験優秀者 第1位：村田陽太郎、第2位：阪本結生、第3位：嶺岸由利子

一般成績優秀者 第1位：村田陽太郎、第2位：平岡優迪、第

3位：阪本結生
ノーベル・バイオケア・アワード（補綴）新倉啓太、（保存）加々美大輔、（口外科）海住直樹
デンツプライスチューデントアワード（補綴）阪本結生、（保存）応藤光浩

パナソニックヘルスケアアワード（歯科優秀）村田陽太郎
モリタ・ハノー補綴学賞（補綴）近藤俊輔

— 神奈川県川歯科大学短期大学部 —
成績優秀賞（歯科衛生学科）堀

田直花、青木垂梨沙、菊池麻美（看護学科）岩根弘子、奥野美沙、野口夏子

— 学長賞 —

歯学部：長島信太郎
短期大学部：伊藤裕也



総合防災訓練の実施

平成 26 年 1 月 16 日(木)全学防災訓練を実施致しました。前回の防災訓練の反省として「緊張感の欠如」の改善に主眼をおき、今回は横須賀消防署様の協力もいただき、改善策を取り入れた訓練となりました。

約 1,400 名による訓練は、直下型地震発生を想定し、建物損壊・火災発生・怪我人の救助・津波避難訓練・消火訓練を行いました。

12 時 10 分、学内に鳴り響くサイレンが訓練開始を告げました。

12 時 13 分、本部棟裏広場への避難が始まりました。「動きが鈍く、緊張感が無い」との指摘を毎回受けますが、今回は火災発生の想定箇所を増やし、また怪我人救護の訓練などを追加したにも関わらず、実にスムーズな避難がなされ、安否確認予定時刻を 4 分短縮する事ができま

した。

佐藤貞雄学長より、全学の安否確認、火災の鎮火、建物の損壊・怪我人の状況などの報告がされた後、「事前告知なしの津波訓練」を実施しました。本学が海に隣接していることもあり、4 箇所の建物の最上階へ避難する訓練を行いました。各棟へ分散して避難するとはいえ、150～300 名が一斉に階段で最上階迄上がる事は容易ではありません。状況を判断した教職員が比較的スムーズな入口に誘導し直し、大きな混乱もなく、無事に最上階へ避難することができました。津波による避難時間は約 7 分でした。津波訓練終了後、学生は訓練

終了とし、教職員のみ再度広場へ集まり、横須賀消防署様監修による消火訓練を行いました。

最後に横須賀消防署長様から講評をいただき、その中で「想定外の事態に柔軟に対応できる体制ができることは避難時には大変重要」とのことでした。予定時刻の 13 時には全ての訓練が終了致しまし

た。横須賀消防署様からは、御多忙の折、12 名もの署員様を派遣頂き心より感謝申し上げます。



第2回神奈川歯科大学大学院 第2回災害医療歯科学研究報告会を開催

平成 26 年 2 月 16 日(日)、本学小講堂で第 2 回災害医療歯科学研究報告会を開催しました。前日には大雪が降り交通機関の乱れが心配されましたが、無事開催され地域からの市民を含め

100 名程度が参加しました。教育講演では中里迪彦氏(元いわき市歯科医師会会長)に「東日本大震災に被災したいわき市の現実—福島第一原発事故・風評被害の中での歯科医療活動—」

が行われました。引き続き、地域災害歯科医療シンポジウムが開催され、槻木恵一教授(大学院研究科長)、西崎靖仁氏(横須賀市歯科医師会理事)、櫻井孝教授(附属病院副院長)が登壇し活潑な討論がされました。午後の部では、片山幸太郎氏(元陸上自衛隊陸将補・空挺レンジャー)による市民講演「震

災への備え—市民生活に協力・貢献する災害医療歯科学からのアプローチ」が行われました。文部科学省戦略基盤事業の中間年であり、ポスター発表 40 演題も行われ最終年度に向けて成果の充実を目指した討論が行われました。



平成25年度 大学院修了式



平成26年3月17日(月)大学院修了式が挙行されました。今回学位授与されたのは、甲種：川津布美、板倉紹子、杉田武士、淵田慎也、大澤多恵子、松木千

紗、川島榮里子、杉山弘起。乙種：三浦貴之、白濱 淳、吉田賢二、川田和重、櫻庭茂樹、鹿谷宗司、杉本秀樹、近藤忠稚、武村幸彦の17名です。佐藤貞

雄学長からの祝辞では、「学位は人に与えられるものである」ことが述べられ、博士号の本質的な意味を大学院生諸氏は感じることのできる内容でした。さ

らに、槻木恵一研究科長からの挨拶では、学位授与後も疑問があればその解決のために大学院でさらなる研究を進めてほしいと期待が述べられました。

2013年度 海外事情Ⅰ(欧米) 「第24回 ヨーロッパ研修 パリ」

— 短期大学部 —

平成25年12月19日(木)～26日(木)まで8日間の日程で海外事情Ⅰの研修が実施されまし

た。参加人数は、歯科衛生学科40名、看護学科31名、引率4名での実施となりました。

短期大学部は両学科ともに医

療系の学科であることから、研修3日目には、フランス軍衛生部博物館を見学し、フランスの医療の歴史を学びました。そして、昔の医療器具を目の当たりにし、現代医学の発展についても考えるきっかけとなったこと

でしょう。

またパリの名所を巡り歴史ある芸術や文化を肌で感じ学ぶことができました。研修中は天候にも恵まれ充実した研修となりました。(記 五十嵐智子)



就任挨拶



神奈川歯科大学・
神奈川歯科大学短期大学部
学長 平田幸夫

教育の質的保証の更なる充実に 向けて

この度、平成26年4月1日付で神奈川歯科大学並びに神奈川歯科大学短期大学部学長に就任致しました平田です。現在、本学で進めております教育改革について一言述べさせていただきます。

き、新任のご挨拶とさせていただきます。

文部科学省では、少子高齢化に伴う高等教育のユニバーサル化の進展やグローバル化の潮流に対応して、平成24年6月に「大学改革実行プラン」を示し、「大学教育の質的転換」や「大学のガバナンスの充実」を求め、また、昨年末には「大学教育再生加速プログラム」を提示して、大学教育の質的保証の確立を積極的に推進しています。このような動向と神奈川歯科大学の建学の精神を照らし合わせてみた時、本学が人の健康に係わる高度専門職業人の養成機関であることに鑑みれば、優れた医療人を輩出するための教育の質的保

証を確立していくことは当然であるといえます。

そのため、歯学部では新たに総合教育部を立ち上げ約2年間の改革準備をした後、平成25年度より新教育システム（新出席管理システム、5学期制、GPAなど）を教職協働下で開始し、1年が経過したところであります。その間、各学年の欠席率や留年率は著しく減少し、CBTの得点率においては平均で約5点の上昇が認められました。体系化した新カリキュラムの実施からまだ1年という短い中での客観的な数値ですが、一定の成果が芽生えてきていると考えています。また、この3月に開催された短期大学部FD

の中での教育改革に関するアンケート調査においても、「あなたの所属学科で教育改革が必要だと思いますか」の質問に対して、参加した教職員の97%は教育改革が必要であると回答しており、教育改革への積極的な姿勢が伺えました。

このような成果や積極性を今後とも維持して行くためには、政府（教育再生実行会議）から出される提言を踏まえつつ、全学の教職員が一体となって、すでに本学で実施されている内容とともに、下記の内容の充実と加速に取り組んでいく必要があると考えています。

①教育方法の質的展開（教育機能の強化）

- ・能動的授業（アクティブ・ラーニング）ならびに双方向の授業展開
- ・ICT（情報通信技術）の活用と人材育成

②全学的教学マネジメントの改善

- ・学修時間の確保
- ・学修成果（GPA）の可視化
- ・教育課程の体系化の充実
- ・組織的教育の確立

③教職協働教学IRの構築と人材育成

- ・教学IR室の設置

④社会人の学び直し機能の設立

- ・歯科医師に対する専門領域の学び直し短期プログラムとITC活用コンテンツの充実

⑤グローバル化に対応した教育環境づくり

⑥入試選抜方法の見直し



神奈川歯科大学 副学長
榎木恵一

この度、副学長に就任いたしました本学24回生の榎木恵一でございます。何分若輩にてこの様な大任の拝命に際し、身を引き締めて大学の発展のために、平田幸夫新学長の下に鋭意努力をしまいる所存です。

昨年度より神奈川歯科大学は、大きな組織改変とともに大幅な教育改革を進めておりま

す。この改革は常に点検し、充実を図り完成度を高める必要があります。特に任期中には、第2期大学認証評価を受けることになることから、教員の教育力の向上とともに、機能的には総合教育部の強化が重要になります。さらに、短期的には本学の歯科医師国家試験合格率をこれまで以上に引き上げるという重

大なmissionも完遂しなければなりません。また、大学院に目を向けると、課程制大学院の趣旨に基づき、大学院教育の充実が望まれています。

これら大きな課題に、教職協働を基本とし、常に学生が主役の大学を目指して取り組む所存です。引き続きご助言、ご支援をお願い申し上げます。



神奈川歯科大学 教学部長・総合教育部長
櫻井 孝

平成 26 年度から教学部教務

担当部長、ならびに総合教育部長を拝命することになりました。超高齢化社会を迎えた我が国では、社会構造が変化し、国民の生活様式が多様化し続けております。歯科医療に対するニーズも多様化し、従来の歯学教育では多様化するニーズを満たすことが出来なくなりつつあります。歯科大学の使命は、言

うまでもなく優れた歯科医師の養成であり、社会に役立つ歯科医師を世の中に送り出すことにあります。したがって、歯学教育も社会の変化に則して改革される必要があり、今年度から実施されている本学のカリキュラム改革もそれに対応するものであり、今後もより良い教育を目指して教育改革を継続していく

ことは大変重要であります。私儀甚だ微力ではございますが、教学部教務担当部長、総合教育部部長としての役職を全うできますよう、本学の教育改革、改善のためにさらなる努力を重ねてまいる所存でございます。関係者の皆様におかれましては、旧倍の御教示を賜りますよう御願ひ申し上げます。



神奈川歯科大学
口腔科学講座歯周病学分野 教授
三辺 正人

この度、大学院歯学研究科口腔科学講座歯周病分野教授とし

て、歯周科に赴任しました三辺と申します。神奈川歯科大学を卒業後（12 回生）、同保存第 2 講座（歯周病学）に助手として 10 年間、その後、奥羽大学歯学部保存第 1 講座（修復・歯周病学）に講師として 4 年間在籍し、平成 6 年に千葉市で歯科クリニックを開業しました。20 年の月日を経て、再び大学人としての新たな 1 歩を踏み出すことになりましたことは、真に感

慨無量の一言です。思えば、今回、同科に再公募させて頂くまでの 15 年間、多くの方々に励まされ、支えられてモチベーションを高揚、維持できましたことに改めて感謝申し上げます。大学院教授という名誉ある重責を一任されたことに対して、理事長、学長はじめ大学各位の先生方に深く謝意を表するとともに覚悟の念を新たにしている次第です。時代の変化の中

で、自分に与えられた使命は何か？道理に基づいた選択をしているか否か？について常に自問自答しながら、医療人としての職務を全うしたいと思えます。臨床、研究および学部、大学院を含めた卒前卒後一貫教育を充実させ、母校の活性化と歯科医療のステータスの向上のために尽力する所存ですので、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



神奈川歯科大学 高度先進口腔医学講座
インプラント・歯周病学分野 教授
兎玉 利朗

平成 26 年 4 月 1 日より、高度先進口腔医学講座インプラント・歯周病学分野大学院教授と

して赴任した兎玉利朗です。勤務地は神奈川歯科大学附属横浜クリニック（インプラント科）となります。神奈川歯科大学歯学部を卒業後、約 14 年歯周病学講座に在籍しておりました。その当時の主な研究分野は、生体材料の研究開発とそれに伴う新治療法の研究でした。その後、故郷鹿児島にて約 17 年間、歯周病・インプラント専門医として開業いたしました。開業から現在に至るまで、大学在籍時の

研究テーマを細々とライフワークとして継続してきました。このたび、数奇な運命と感じながら大学人としての決意を固め、横浜の地にて再スタートの運びとなりました。

現在の歯科界自体の状況は、社会における貢献度、制度の問題、歯学部志望の問題等々、非常に厳しいものがありますが、これまでの臨床経験ならびに研究をもとに大学における臨床の再構築、さらに開業医の皆様へ

の情報発信の場として活力ある横浜クリニック、大学再建に全力を尽くす所存です。具体的には、地域連携医療、専門医育成研修、臨床に即した研究テーマ、次世代を担う人材育成です。今後とも皆様のご指導ご協力を賜り、微力ながら尽力したいと思えます。

以上よろしく御願ひ申し上げます

口腔科学講座 宮城敦准教授が功労賞を受賞

口腔科学講座障害者歯科学の宮城敦准教授が、平成25年10月12日に一般社団法人日本障害者歯科学会より功労賞を贈られました。同学会発足30周年

を記念して、宿題委託研究「歯肉腫脹の客観的評価とその対応～服薬、機能、ケア状態との関連～」の研究代表者としての業績が高く評価されたた

めです。本学にとってもたいへん名誉なことと思います。先生のご発展を期待いたします。



平成25年度「神奈川歯科大学 歯科身元確認研修会」開催される

東日本大震災を契機に歯科身元確認の重要性が再認識されました。文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の地域に貢献する人材教育の一環として、平成25年10月29・30日の2日間、学内初の歯科身元確認研修会が開催されました。歯科医師会主催の研修会は各地で行われていますが、大学内の歯科医師への教育は全国で初めてと思われま

す。参加者は1日目29名、2日目26名、内訳は基礎19%、臨床42%、大学院生

19%、研修医12%、その他4%でした。2日とも講義60分の後、90分の実習を行いました。1日目は、歯科身元確認の基本と作業の流れ、デンタルチャートの書き方についての講義の後、新しく開発した身元確認研修用マネキンと事例ファイルからのデンタルチャート作成の実習を行いました。2日目は、事例紹介の講義後、マネ

キンの口腔内写真撮影とポータブルエックス線撮影、2人1組となりファイル事例の生前・死後のチャート作成と照合判定の実習を行いました。

今回、デンタルチャート作成は初めてという先生は少なくありませんでした。遺体様のマネキンを用いて実習したことにより、実践的な歯科身元確認作業ができました。また、アンケートで

「デンタルチャートの作成などは慣れていないと緊急時に対応するのが難しいと思った」などの感想がありました。近い将来起きる可能性が高い大地震に備え、身元確認に携わる歯科医師を養成するために、学内でも定期的に研修会を開催する必要性を痛感しました。お忙しい中、ご参加いただきました先生方に感謝申し上げます。



病診連携交流会

平成26年2月11日(火)(建国記念日)、附属病院における病診連携推進のための交流会(講演会・懇親会)を開催いたしました。今回の講演会は「有病者の歯科治療」をテーマとして取り上げ、障害者歯科学的観点から宮城敦先生に、口腔外科学的観点から岩淵博史先生に講

演していただきました。本交流会は従来平日夕刻に開催している会ですが、今回初めて休日昼間に開催させていただきました。休日での開催は初めての試みでありましたため、当初どれ位の方に参加していただけるか危惧されましたが、87名の方に御参加いただくことがで

き、大変盛況な交流会となりました。御参加いただいた関係者の方々に厚く感謝申し上げます。

講演会終了後の懇親会にもほとんどの出席者が参加して下さいました。日中の懇親会と言うことで、アルコールを提供させていただき事は出来ませんでした。ノンアルコールビールやソフトドリンクを片手に、和や

かな内に親睦を深める会としていただく事が出来ました。

交流会を盛り上げて下さいました近隣の先生方、関係者の方々に心より感謝申し上げますとともに、次回以降の本会におきましても多くの方に御出席いただき、有意義な会として御利用いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



総合防災訓練の実施

平成26年1月16日(木)全学防災訓練を実施致しました。前回の防災訓練の反省として「緊張感の欠如」の改善に主眼をおき、今回は横須賀消防署様の協力もいただき、改善策を取り入れた訓練となりました。

約1,400名による訓練は、直下型地震発生を想定し、建物損壊・火災発生・怪我人の救助・津波避難訓練・消火訓練を行いました。

12時10分、学内に鳴り響くサイレンが訓練開始を告げました。

12時13分、本部棟裏広場への避難が始まりました。「動きが鈍く、緊張感が無い」との指摘を毎回受けますが、今回は火災発生の想定箇所を増やし、また怪我人救護の訓練などを追加したにも関わらず、実にスムーズな避難がなされ、安否確認予定時刻を4分短縮する事ができま

した。

佐藤貞雄学長より、全学の安否確認、火災の鎮火、建物の損壊・怪我人の状況などの報告がされた後、「事前告知なしの津波訓練」を実施しました。本学が海に隣接していることもあり、4箇所の建物の最上階へ避難する訓練を行いました。各棟へ分散して避難するとはいえ、150～300名が一斉に階段で最上階迄上がる事は容易ではありません。状況を判断した教職員が比較的スムーズな入口に誘導し直し、大きな混乱もなく、無事に最上階へ避難することができました。津波による避難時間は約7分でした。津波訓練終了後、学生は訓練

終了とし、教職員のみ再度広場へ集まり、横須賀消防署様監修による消火訓練を行いました。

最後に横須賀消防署長様から講評をいただき、その中で「想定外の事態に柔軟に対応できる体制ができることは避難時には大変重要」とのことでした。予定時刻の13時には全ての訓練が終了致しまし

た。横須賀消防署様からは、御多忙の折、12名もの署員様を派遣頂き心より感謝申し上げます。



第2回神奈川歯科大学大学院 第2回災害医療歯科学研究報告会を開催

平成26年2月16日(日)、本学小講堂で第2回災害医療歯科学研究報告会を開催しました。前日には大雪が降り交通機関の乱れが心配されましたが、無事開催され地域からの市民を含め

100名程度が参加しました。教育講演では中里迪彦氏(元いわき市歯科医師会会長)に「東日本大震災に被災したいわき市の現実—福島第一原発事故・風評被害の中での歯科医療活動—」

が行われました。引き続き、地域災害歯科医療シンポジウムが開催され、榎木恵一教授(大学院研究科長)、西崎靖仁氏(横須賀市歯科医師会理事)、櫻井孝教授(附属病院副院長)が登場し活潑な討論がされました。午後の部では、片山幸太郎氏(元陸上自衛隊陸将補・空挺レンジャー)による市民講演「震

災への備え—市民生活に協力・貢献する災害医療歯科学からのアプローチ」が行われました。文部科学省戦略基盤事業の中間年であり、ポスター発表40演題も行われ最終年度に向けて成果の充実を目指した討論が行われました。



教学部だより

歯学部 教員紹介



教学部教務担当部長・総合教育部部長

櫻井 孝

歯科医師への道は益々厳しくなっていますが頑張りましょう！



教学部学生担当部長

菅谷 彰

新たな年度を迎え、学生・教職員とともに尽力していく所存です。

短期大学部 教員紹介



学部長

長谷 徹

教育力のアップで大学生活の充実と国試全員突破を目指します。



教学部教務担当部長

藤野富久江

自ら問題発見・解決能力を獲得、社会貢献出来る人材育成を目指します。



教学部学生担当部長

林田丞太

安全で快適かつ楽しいキャンパスへ向け学生支援に努めます。



歯科衛生学科長

鈴木幸江

歯科衛生士学生の主体的な学びを支援します。



看護学科長

前山直美

社会人基礎力（アクション、シンキング、チームワーク）を育むよう、授業の充実を図ります。

オープンキャンパス2014年度日程



笑顔をつくる“ワタシ”になる

歯学部

5/25(日)	6/22(日)	7/27(日)
8/10(日)	8/28(木)	9/28(日)
11/8(土)	11/16(日)	H27. 3/15(日)

<要予約>

▶各回とも 13:00 ~ 16:00

(11/8のみ 12:00 ~ 15:00 個別進学相談)

▶内容

- ・大学説明／入試説明
- ・体験授業（詳細決定次第 HP・スマホサイトに掲載します）
- ・学食体験
- ・施設見学
- ・個別相談
- ・先輩と話そうコーナーなど

申し込み・お問い合わせ

神奈川歯科大学 教学部入試係

【教学部】TEL 046-822-9580

メール nyushi-shigakubu@kdu.ac.jp

URL <http://www.kdu.ac.jp/>

短期大学部 歯科衛生学科・看護学科

5/11(日)	6/22(日)	7/27(日)
8/3(日)	8/21(木)	9/21(日)
11/16(日)	H27. 3/22(日)	

<予約不要>

▶各回とも 13:00 ~ 16:00 (受付開始 12:30)

▶内容

- ・大学説明／入試説明
- ・体験授業（授業内容は HP、スマホサイトに掲載します）
- ・学内見学
- ・先生と話そう！（個別相談）
- ・先輩と話そう！
- ・プラスワン企画（5/11・6/22・8/3 AO 入試対策講座、7/27 保護者説明会、9/21 推薦入試対策講座）

●稲岡祭

11/8(土) 12:00 ~ 15:00

▶内容

- ・個別進学相談
- ・受験生応援コーナー

お問い合わせ

神奈川歯科大学短期大学部

【教学部】TEL 046-822-8780

メール seikyu-tandai@kdu.ac.jp